

# nano コマンド

- 読み方：ナノ
- 意味：テキストエディタ（GNU nano）
- 用途：ターミナル上でテキストファイルを編集するためのコマンド

## 利用環境

LinuxやmacOSのターミナル、WSL、Git Bashなど（Windows単体環境では通常利用できないが、WSLやGit Bashを通じて利用可能）

## 基本操作

### 1. 新規作成または既存ファイルを開く

`nano`

- 確認コマンド：ファイル内容を表示（cat コマンド）

`cat`

- 実行結果の例

Hello World

### 2. ファイルを編集して保存する

- 編集後、保存する場合は `Ctrl + O` → `Enter`
- 編集を終了する場合は `Ctrl + X`

### 3. 保存せず終了する

- `Ctrl + X` を押した後、保存確認で `N` を選択

## よく使うショートカット

### 1. 編集内容をファイルに保存する

`Ctrl + O` : 保存（Write Out）

### 2. nanoを終了する（保存するかどうか確認される）

`Ctrl + X` : 終了（Exit）

### 3. ファイル内で文字列を検索

`Ctrl + W` : 検索（Where Is）

### 4. 現在位置（行番号・列番号）を表示

`Ctrl + C`

## その他オプション

### 1. `-l` (linenumbers) : 行番号を表示して起動する

`nano -l`

→ 左側に行番号が表示される状態で編集可能

### 2. `-c` (constantshow) : 常にカーソル位置を表示

`nano -c`

### 3. --help : nanoコマンドのヘルプを表示

- 利用可能なオプションを確認できる

```
nano --help
```

以上